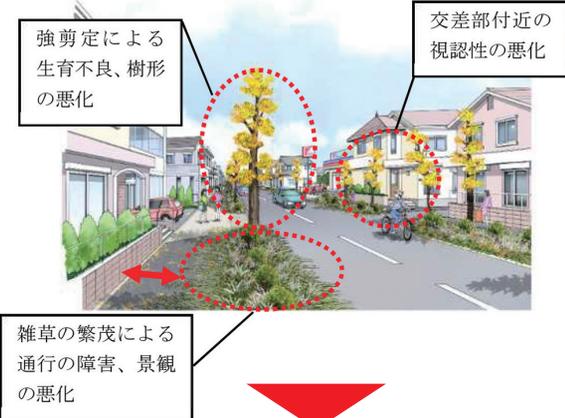




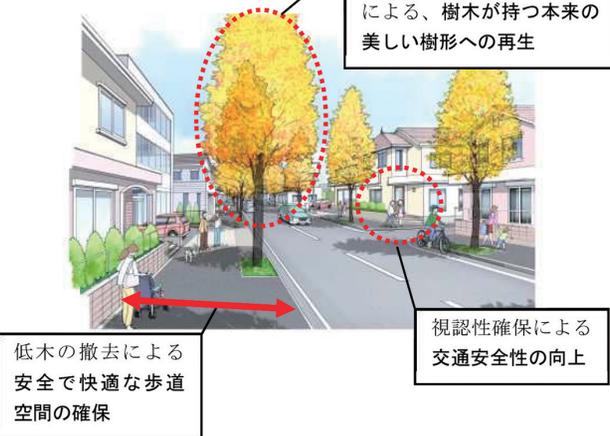
街路樹の管理 (街路樹の計画的で効率的な維持管理を進め、安全で潤いのある道路環境の創出を図っていきます。)

新たな街路樹の管理方針

従来の管理

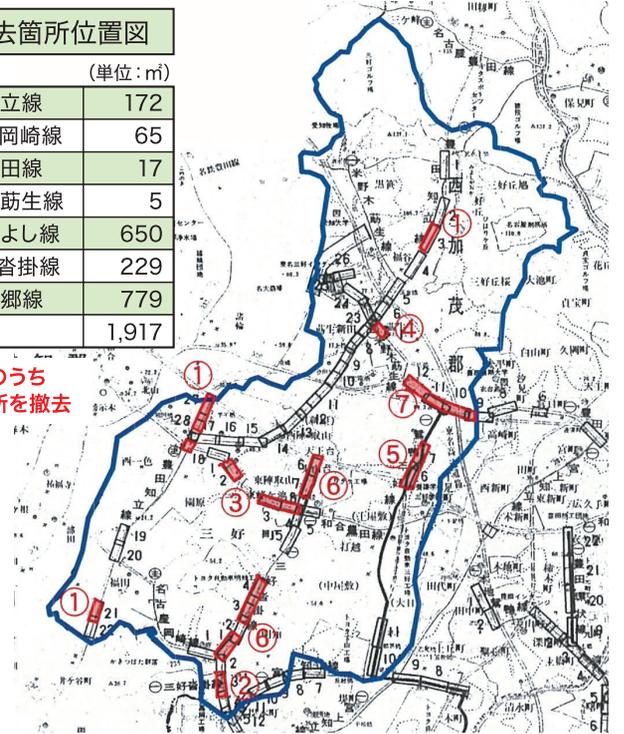


新しい管理



低木撤去箇所位置図	
～R6年度 (単位: m)	
① 豊田知立線	172
② 名古屋岡崎線	65
③ 和合豊田線	17
④ 米野木筋生線	5
⑤ 鴛鴨みよし線	650
⑥ みよし沓掛線	229
⑦ 豊田東郷線	779
合計	1,917

※着色部のうち必要箇所を撤去



要望により実施したトヨタ自動車明知工場社員駐車場出口付近

11月1日に、愛・地球博記念公園にジブリパークがオープンしました



©Studio Ghibli

- ジブリパークのチケット販売が先着順のみになります。
- 「青春の丘」と「ジブリの大倉庫」が一度に観覧できるようになります!
(いずれも2023年2月入場分チケットから)



「青春の丘」の地球屋



「ジブリの大倉庫」



「どんどこ森」のサツキとメイの家

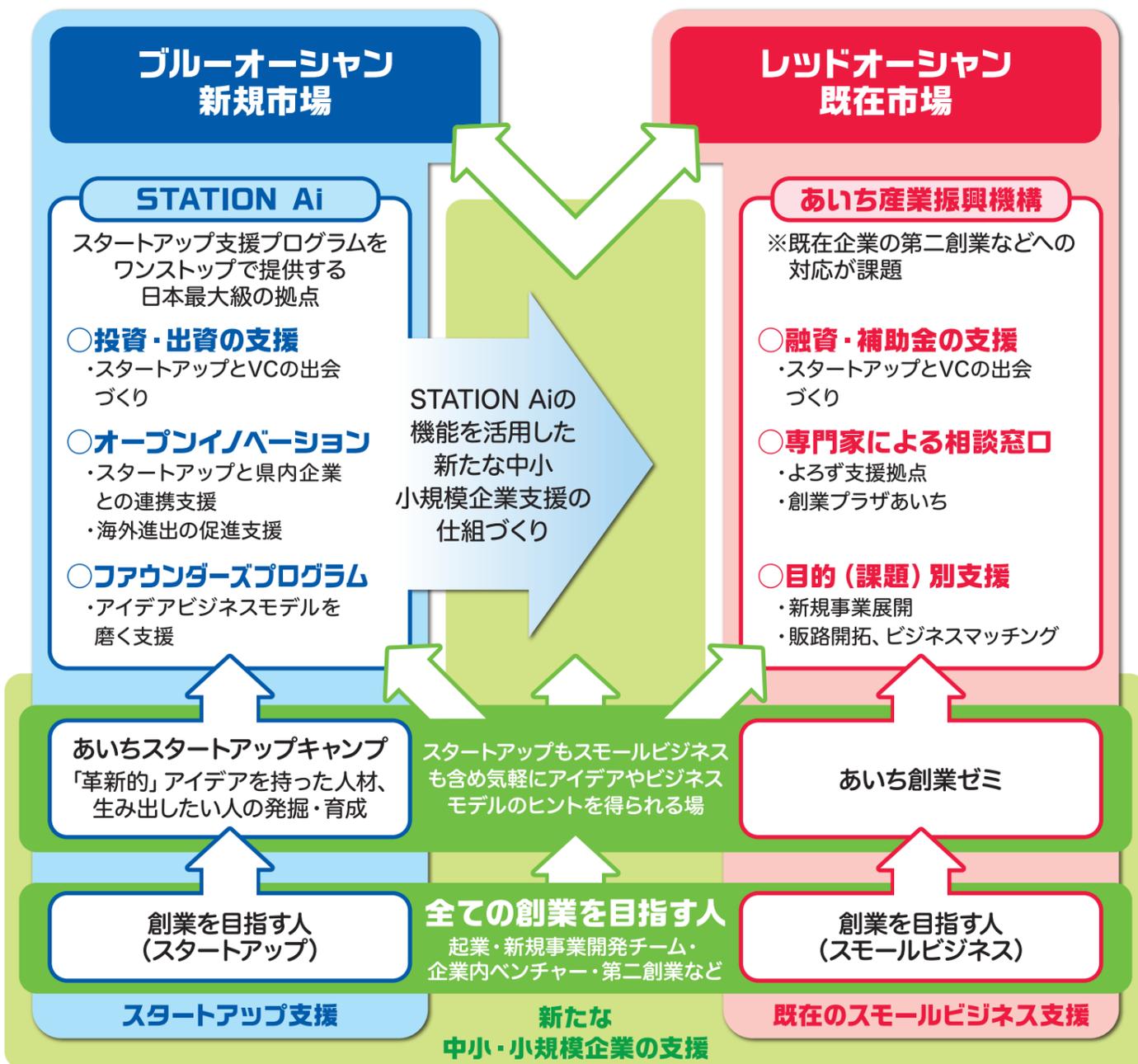
STATION Aiを活用した新たな中小・小規模企業支援の仕組みづくり

問 事業転換や第二創業、創業を図ろうとする中小・小規模企業や個人に対するプログラムの構築によるスタートアップの可能性を増やす取り組みが必要と考えますが、県としてどのような支援を行っていくのか。

答 弁 県として、これまでの取組を通じ、事業転換や第二創業などを図ろうとする中小・小規模企業や個人に対する支援を行うとともに、STATION Aiの開業に向け、創業を志す方がターゲットとする市場やビジネスモデルの規模や種類に応じ、中小企業支援拠点である、あいち産業振興機構と、スタートアップ支援拠点であるSTATION Aiが相互に連携し、創業を考える全ての方々のニーズに見合った、ものづくり愛知にふさわしい支援メニューを提供できるよう、引き続き取組を推進してまいります。

想 い 自社の生き残りを賭け新事業や第二創業へのチャレンジを図ろうとするが、その余裕や手法に戸惑う中小・小規模企業。起業家や経営者、第二創業者など、事業を立ち上げようとするすべての人が、試行錯誤を繰り返しながら、そのアイデアをカタチにしていくために必要な環境、設備、そしてコミュニティなどを備えたSTATION Aiを活用する。スタートアップ支援もスモールビジネス支援も始まりは同じであり、新しい事業を興すという点で入り口を一つにする。STATION Aiの開業に向けて、そうした仕組みづくりのための場所と仕組みが必要と考えます。

STATION Aiを活用した新たな中小・小規模企業支援のイメージ図



空き店舗を活用した出展支援

問 新型コロナウイルス感染症などの影響からリスタートや業態変更、創業など前向きに挑戦する方々への商店街への出展支援に対する考えはどのようなか。また、商店街における空き店舗の現状と空き店舗を活用した取組に対する県の支援はどのようなか。

答 弁 愛知県宅地建物取引業協会と連携し、空き店舗物件情報に加え、商店街情報、地元市町村の支援制度などを総合的に発信する「商店街空き店舗情報サイト」を立ち上げ、空き店舗への出店・利活用の促進等の取組みで、中小・小規模企業の空き店舗を活用した事業展開を支援してまいります。

想 い 新たな事業分野や販路開拓に挑戦する意欲ある商業・サービス事業者や新たな創業者にとっても、空き店舗を活用することで事業展開のスピードの向上やコストを下げるといったメリットがあるため、商店街振興組合や商工会等と連携し、空き店舗を活用した取組を県として支援していくことが重要と考えます。

農業用ため池における防災対策

問 都市周辺に多くの方が暮らし、産業や交通の集積した本県で再び、47災害のような局地的豪雨が発生した場合、被害ははるかに甚大となり、復旧費用も莫大となることから、防災重点農業用ため池の豪雨対策を始めとする防災対策が、喫緊の課題であると考えますが、その取組は。

答 弁 建通新聞の記事を参照してください

想 い 水を貯留し農業用水を供給するという本来の役割に加え、地域住民の憩いの場、文化・伝統の継承、動植物の生息・生育の場、そして洪水の防止など、多面的な機能を有しております。こうした地域にとってかけがえのない財産を後世に引き継いでいくためには、ため池の防災工事が大変重要と考えます。



県 農業用ため池防災工事等進捗状況

た土地改良法の一部改正が4月に施行され「豪雨対策が急務」として、豪雨対策が急務に実施が求められる。防災事業に追加され、緊急度により県の判断で事業化できるようになった。これにより「地震対策」を合わせて防災事業の進捗を図る考えだ。

愛知県議会9月定例会議本会議(9月30日)の一般質問で、林文夫議員(自民)から「農業用ため池における防災対策について」に関する質問があり、長田敦司農林基盤局長が、地震・豪雨耐性評価などの進捗状況や防災工事の取り組みなどを説明した。

県では、推進計画(21・30年度)に基づき、県内の防災重点農業用ため池102カ所を対

象に、前期の5カ年で全てを完了する予定。初年度の21年度は31カ所を実施し、22年度は31カ所を実施している。22年度末には6割を越える見込みとしている。

地震・豪雨耐性評価では、推進計画策定時に既に697カ所(93カ所着手、22年度は16カ所)で実施してきた地震・豪雨耐性評価の結果を踏まえ、防災工事が必要と判断されたため池を対

象に優先的に防災工事を進めている。推進計画では、着手箇所(157カ所)の後期に195カ所(計352カ所)を掲げている。21年度に16カ所(計171カ所)で着手し、22年度は16カ所(計187カ所)で着手している。

また、22年4月1日に土地改良法の一部を改正する法律が施行され、従来、「地震対策」に限定されていた急務の防災工事「豪雨対策」が追加され、「豪雨」に対し急速に安全性の向上を図る改修が必要とされた。農業者からの申請や同意(3分の2以上)などの手続きを不要とし、県の判断で事業化できるようになった。手続きが省かれたことで、おおむね7カ月程度かかっていた期間がおおむね4カ月程度に短縮化された。同改正については、長田局長は、「この改正は、本県が国へ強く要望してきた結果であり、県としてこうした制度を有効に活用し、防災重点農業用ため池の防災工事をより一層推進していく」と説明した。

各市議会議員及び各行政区の要望に対する対応状況の一部（令和4年度の状況）

1	県道 和合豊田線	三好町陣取山	側溝の土砂撤去	排水に影響のある土砂を年度内に撤去予定
2	県道 和合豊田線	三好町東山	歩道整備	フジネ自動車前の歩道整備工事を10月に発注予定
3	県道 みよし沓掛線	東山台	植栽撤去	視認障害ととなっている低木を年度内に撤去予定
4	県道 名古屋岡崎線	明知町・福田町・三好町	歩道整備	歩道整備に先立って愛知用水管延長工事を年度内に実施予定
5	県道 米野木筋生線	筋生町郷	歩道改修	歩道境界ブロックを撤去するなど、左折車両が後輪を踏まない改善工事を年度内に実施予定
6	二級河川 境川	福谷町・筋生町・西一色町	浚渫・雑木除去	福谷町地内の築田橋付近において、浚渫工事を年度内に実施予定
7	急傾斜地崩壊対策	福谷町	急傾斜地崩壊対策	市場区域の斜面対策工事が順調に進み、引き続き東工区の着手に向けた調整を開始予定
8	県道 米野木筋生線	黒笹町西新田	道路整備	早期完成を要望
9	二級河川 小石川	黒笹町・福谷町	河川内除草	黒笹町地内において、年度内に一部伐採予定
10	県営三好丘旭住宅	三好丘旭	法面部除草	歩行者等への悪影響となる敷地法面の除草対策を実施
11	新屋児童館前	新屋町	信号機のLED化	朝日で見にくい既存信号機のLED信号機への更新を実施
12	国道153号 (豊田西バイパス)	天王台交差点 東山台東交差点	交差点内の右折 車線カラー塗装	交差点内の直進・右折車線を分かりやすくします (令和4年11月施工予定)
13	二級河川境川	西一色町	通学橋上流部の 雑木除去	年度内に実施予定
14	主要地方道 前田知立線	福谷町	路肩の土砂・堆積物撤去 及び法面の樹木撤去	今年度は一部実施し、残り区間については来年度予定
15	県道 米野木筋生線	黒笹町・福谷町	歩道境界付近の 草刈り及び土砂撤去	今年度は一部実施し、残り区間については来年度予定



①県道 和合豊田線(三好町陣取山)



②県道 和合豊田線(三好町東山)



③県道 みよし沓掛線(東山台)



④県道 名古屋岡崎線
(明知町・福田町・三好町)



⑤県道 米野木筋生線(筋生町郷)



⑥二級河川 境川
(福谷町・筋生町・西一色町)



⑦急傾斜地崩壊対策(福谷町)



⑧県道 米野木筋生線
(黒笹町西新田)



⑨二級河川 小石川
(黒笹町・福谷町)



⑩県営三好丘旭住宅
(三好丘旭)



⑪新屋児童館前(新屋町)



※写真はイメージです

⑫国道153号(豊田西バイパス)



⑬二級河川 境川(西一色町)



⑭主要地方道 豊田知立線(福谷町)



⑮県道 米野木筋生線
(黒笹町・福谷町)

